

植樹願い込めて

美しい里山再生 天竜区に新拠点

エフ・シー・シーが開設

大手クラッチメーカ「天竜区小堀谷地区」で森のエフ・シー・シーづくり活動に取り組んだ。

(本社・浜松市北区細江町、住田四郎社長)

放置林を豊かな森に再生しようと活動する

(企業の社会貢献活動) NPOプレンティアの

一環として同市森(事務局・同市中

区)の運動に賛同。同NPOが市から無償貸与されている小堀谷地区の市有林のうち約一・四畝を借りて「エフ・シー・シーの森」と名付け、自社の森づくり活動の拠点とした。

この日は開設記念のイベントを行い、従業員家族らとタイからの研修生二人も含めて三十五人が参加した。中

村哲美総務部長と子どもたちが記念の看板を除幕。中村部長は「クラッチ板には紙も使われ、紙の原料は木です。いつもの仕事に感謝をしながら森づくり活動を進めましょう」と呼び掛けた。

続いて参加家族らは、NPOスタッフの指導で整地作業に汗を流して野外料理作りにも挑戦。最後は広葉樹

のコンラの苗木三千五百を植樹、将来は豊かな森に生まれ変わることを願った。

小堀谷地区の森は全体では約一〇・四畝の広さ。森づくり整備の技術指導をするプレンティアの森の水野博代表は「生態系豊かな森と美しい里山の風景を再生するのが願い。さらに地域の企業の参加を呼びかけていきたい」と話した。

(間瀬文隆)



看板の除幕で森の開設を祝う中村総務部長(中央)と子どもたち=浜松市天竜区小堀谷地区で